



ビジネスモデルイノベーションと 実効あるコーポレート・ガバナンスの研究

大学院経営管理研究科

教授 安達 巧

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1476号室
Tel 082-251-5178 (代表) Fax
E-mail

専門分野： ビジネスモデル、事業計画、企業評価、コーポレート・ガバナンス、ワイン、旅
キーワード： ビジネスモデル、事業計画、企業評価、コーポレート・ガバナンス、ワイン、観光

なくないのが現状です。こうした企業におけるコーポレート・ガバナンスの実効性確保に必要な現実的な対応について研究を進めています。

● 現在の研究について

◎博士学位は経済学（名称は「経済学」ですが実質は「経営学」）、修士学位は法学（企業法の分野）です。また、起業（経営者）経験や税理士事務所所長として税理士資格を活用した経営コンサルティング等、大学以外の世界を経験しているせいか、研究のための研究（机上の空論）には余り関心がありません。

◎永遠に通用するビジネスモデルは存在しませんし、ビジネスモデルイノベーションの9割以上は、他業界の既存のアイデアや概念の組み合わせに過ぎません。こうした現実を踏まえたうえでビジネスモデルイノベーションの研究に取り組んでいます。

◎「事業計画書」の読み手の多くは我が儘です。我が儘な読み手を動かすためには、彼らの要求を満たすものを提供する必要があります。事業計画書で大切なことは、その事業の可能性を伝えることであり、そのためには根本となる事業自体が魅力的でなければなりません。新しいビジネスモデル構築にとどまらず、作成目的に応じてアピールポイントを効果的に記載した事業計画書の作成も含めたスタートアップ支援について研究をしています。

◎わが国の上場企業では、いわゆる「サラリーマン社長」が少なくなく、また、前経営陣が「相談役」等の肩書を与えられて現経営陣への影響力を行使する傾向も見られます。さらに、形式的に（お飾りの？）社外取締役を置いている企業も残念ながら少

● 今後進めていきたい研究について

◎今後も、ビジネスモデルイノベーション及び作成目的に応じてアピールポイントを効果的に記載した事業計画書の作成について、実行支援を重ねながら研究を進めて参る所存です。

◎コーポレート・ガバナンスについて、産業界、公認会計士、税理士、弁護士等の実務家の皆様とも協力しながら学際的研究を進めて参る所存です。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

◎ビジネスモデルイノベーションによるスタートアップ支援及び企業の新規事業開発支援を進めたいと考えています。また、異なる価値観を有する社外取締役の有効により「攻め」のガバナンス実行を本気で考える企業の支援を進めたいと考えています。

◎日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート、WSET International Higher Certificate 及び一般旅行業務取扱主任者の各資格を持ち、日本の全47都道府県と世界約60ヶ国を旅した経験を活かし、ワインや観光等で地域振興を図りたいとお考えの組織の支援を進めたいと考えています。

● これまでの連携実績

◎「戦略的ガバナンス研究委員会」委員長として、産業界、公認会計士、弁護士、学識経験者の皆様方と実効あるコーポレート・ガバナンスについて幅広く、突っ込んだ議論をさせて頂きました。